

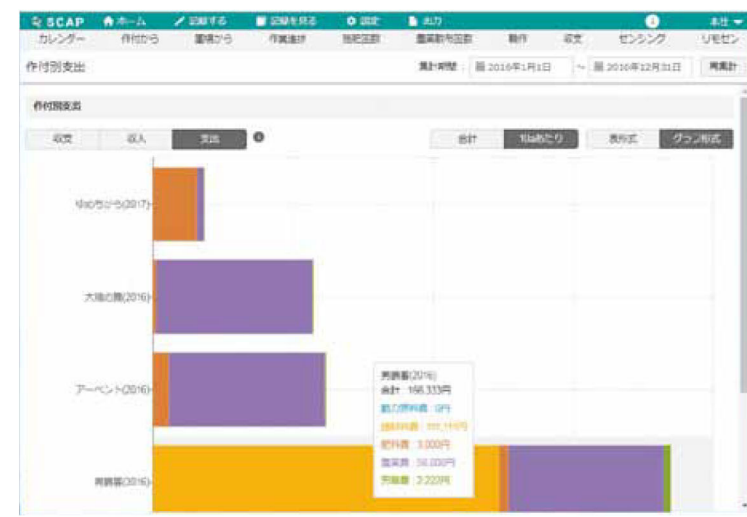
技術のトビラ

Revolution & Evolution

未来志向の技術と挑戦、ここにあり。
サングリングループの最新の取り組みをご紹介します。



■ 支出内訳表示画面



グラフで支出の内訳がわかります

■ カレンダー表示画面



カレンダーから記録を見られます

■ SCAPの機能と効果

作業	何を	改善	効果
無人航空機による防除作業	紙地図による防除計画	データを基にした正確な防除計画の作成	防除作業の高品質化 安全性の向上 等
生産履歴の記録 生育状況の記録 作業履歴の記録	ノートへの手書きと保管	タブレット等の入力 とデジタル保管	正確で リアルタイムな記録
農作業時期の予測 (播種、収穫、水管理等)	過去のノートの見直し/動と経路による作業時期の決定	データを基にした適正作業時期の判断	収穫ロスの低減 コストの低減

農業を「見える化」して
経営をサポート

SCAPはさまざまな記録をグラフや表で見やすく表示してくれるため、記録の概要が一目瞭然です。収支項目では、人件費や農薬代・農業資材代などを細かく記録できるため、どこにコストがかかっているのか簡単に把握できます。お金の流れが見えることで、収入と支出のバランスも取りやすくなります。

栽培・経営計画はそのまま残るため、翌年は過去の記録から複写することが可能です。過去の記録の反省をもとに新たな計画を立てることは、経営改善にも大きく役立ちます。また、圃場ごとに作物を確認し、病気や害虫が発生しやすい原因を考察できます。さらに、土壌分析の記録を紐付けることができるので、輪作体系や施肥設計を組みやすくなります。

SCAPのこれから

現在、GPSの情報をもとに作業を自動記録する機能を開発中です。過去の作業記録の履歴や登録された作業予定をもとに、作業の内容や時間を自動で判

広がる農業デジタル化

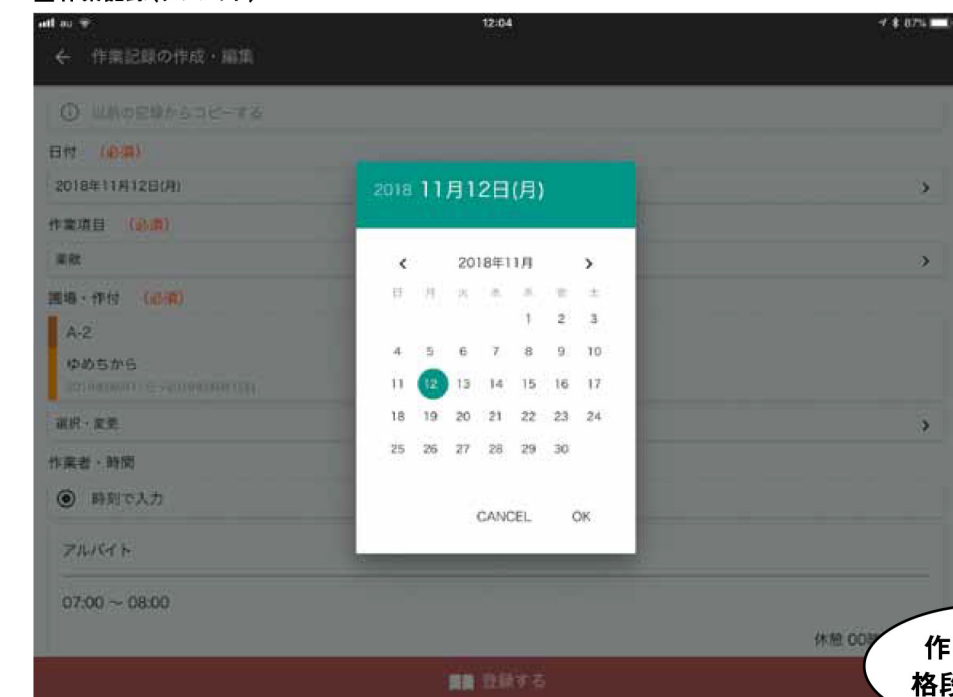
昨今、農業従事者の高齢化や後継者不足によって、農業は深刻な人手不足に陥っています。農業の省力化が急務となっているいま、注目されているのがICTを活用したスマート農業です。GPSを利用し、自動運転を行うGPSトラクターや、ドローンを活用してモノに触れずに作物の生育状況などを測定するリモートセンシング技術などがよく知られており、「SCAP」もその一つです。SCAPは元々、無人ヘリコプターの散布計画を紙媒体からインターネット上に記録することで、省力化を図るという目的で生まれた弊社独自のシステムです。社員の負担軽減のために改良を重ねてきましたが、そこから派生し、現在は生産者用の、インターネット上に作業を記録し、圃場管理ができる営農支援システムもあります。

今回は、SCAPの営農支援システムに重点を置いてご紹介します。

スマホで手軽に記録を確認

SCAPは航空写真上に圃場を設定し、栽培計画や作業記録をスマートフォンやタブレット端末で簡単に確認・管理することが出来ます。また、いつ・どこで何の作業をしたかをすぐに振り返ることも可能です。いま話題のグローバルGAPやJGAPなどは、栽培記録を残しておく必要があるため、記録の保管にも役立ち

■ 作業記録(タブレット)



ます。圃場の情報がすべて集約されているため、従業員全員での情報共有も可能となりました。作業が遅れているところへのフォローに行けたり、新人従業員でも過去の栽培記録を参考に作業ができたりと、確かつスムーズな運営に役立ちます。

また、農薬の設定をすることで登録外使用を指摘してくれるアラート機能もあり、多種多様な農薬を正しく使用するためにも重要な機能です。



SCAPについて詳しく知りたい | SCAPをトライアルしたい | もっと詳細な説明が聞きたい

ご質問など、お待ちしております!

本取り組みに関するお問い合わせは…
株式会社サングリン太陽園 経営企画室 TEL 011-892-6281